

## 制御棒挿入の遅れに関する関電・保安院の 数値操作のカラクリ

地震動により、制御棒の挿入にかかる時間がどうなるか？

評価基準値  
(許容値) : 2.2秒

これを超えると大飯原発3・4号の  
運転はできない

これまでの評価(現在も有効)

耐震安全性評価  
中間報告として、  
保安院が了承した  
数値\*注1

700ガル  
2連動 → 2.16秒

許容値2.2秒を超えない

もし活断層3連動  
に適用すると...

1000ガル  
3連動 → 2.38秒

許容値2.2秒を超える！！

注1) 2009年(H21年)12月 大飯発電所3,4号機 新耐震指針に照らした耐震安全性評価  
(中間報告追補版)に関する補足説明資料。保安院は複数回の審議を経て2010年(H22)  
11月に了承。

ここに来て

いきなり出された  
保安院資料\*注2

700ガル  
2連動 → 1.88秒

この数値を使う  
と3連動では...

1000ガル  
3連動 → 1.98秒

許容値2.2秒を超えない！！

注2) 2012年(H24年)3月13日 原子力安全・保安院 「総検第4 - 1号等で示された質問に対する  
回答」(総検第5-3号)。久木田安全委員の質問に対して、関電が保安院に口答で伝えた数値。  
保安院は、正式報告されていない数値をそのまま流用。 [作成: FoE Japan/美浜の会]